

富良野へ帰ってこないかイ?

富良野にUターンして見つけた自分らしい毎日

生まれ育った故郷・富良野。一旦離れたこの地に家族と共に戻り、近所や地域のあたたかいつながりの中で子どもを育てながら、多くの女性が社会で活躍しています。Uターン就職応援企画・連載第2弾は、家族や親戚、従業員への感謝を怠らず、女性の社会進出を目指し、苦勞を乗り越え続ける女性経営者にお話を伺いました。

富良野で叶えたい夢

●仕事も家庭も両立させるために

在宅介護と施設介護のサービスを受けられる「株式会社すまいるふらの」代表の大西さんは、仕事と主婦業を両立しているパワフルな女性。困っている人を手助けしたいと、高齢化が進む富良野で介護施設を経営しています。

「高校時代、就職は事務職を希望していません。でも、担任の先生から『介護の仕事が向いている』と言われて、地元企業で働くことにしました。」

実際勤務してみると「楽しい!」やりがいを感じた大西さんは、結婚を機に富良野を離れた後も、介護業務に従事。大好きな富良野で自分の経験を生かして、「いつか高齢者に自分らしい暮らしができる場をつくりたい」という夢が膨らみました。その思いを聞いた夫は、子ども2人とともに家族でUターンを決断してくれたそうです。

富良野に戻ってからは、「多くの人が子どもの面倒を見てくれて、とても支えられました」と話す大西さん。保育園の送迎や子どもの看病など、両親や親類が子育てに協力してくれたので、仕事に集中することができました。「人と人とのつながりが深い富良野では、安心して子育てできると感じます。」

●家族団らんを活力に

介護の仕事は24時間毎日続き、終わりはありません。「結婚していなかったら、私はありません。」結婚していなかったら、私はありません。



従業員の支えと利用者の幸せそうな笑顔に励まされ、日々の業務に取り組んでいます

「人のためになる仕事は、どんな年代の人生も豊かにしてくれます。子どもからお年寄りまでが交流の場を通して福祉の心を育み、誰もが活躍できるまちにしていきたいです。」

「人がためになる仕事は、どんな年代の人生も豊かにしてくれます。子どもからお年寄りまでが交流の場を通して福祉の心を育み、誰もが活躍できるまちにしていきたいです。」



親子の時間をもちたいと尺八を始めた大西さん。お箏(こと)を習う息子さんたちと、発表会に向け練習に励んでいます

「多忙を極める毎日の中でも、家族と過ごす時間を大切にしています。『普段は夫や子どもが食事の準備や洗濯、買い物など、家事を率先して手伝ってくれるので、とても助かっています。』仕事に理解のある家族に感謝し、休日には思いっきり家族サービスをしてくれる大西さん。子どもが食べたいものを作ったり、夏はバーベキューや、部活、習い事の応援に行ったりと、家族で過ごす時間を楽しんでいきます。

大西さんの次なる目標は、誰もが住みやすいまちをつくること。子どももお年寄りにも優しく、身近な人たちが

PROFILE

株式会社
すまいるふらの
代表取締役
大西 三奈子さん
(39歳)



富良野高等学校卒。介護老人保健施設ふらのに5年間勤務し、結婚を機に帯広へ。夫の転勤で赴任した土地でも介護の仕事に従事し、富良野に戻る。平成23年に「株式会社すまいるふらの」を設立し、誰もが暮らしやすい

富良野市のしごと情報サイト

富良野で見つけろ **Furano Job Style** 暮らしやすい毎日

★新卒特集★ Uターンふらの出身者採用企業特集

農業×ふらのの 子育てママへ

新コンテンツ公開中!